

論文 / 著書情報
Article / Book Information

題目(和文)	ル・コルビュジエ全作品集における建築空間の情報伝達手法に関する研究
Title(English)	
著者(和文)	岡河 貢
Author(English)	Mitsugu Okagawa
出典(和文)	学位:博士(工学), 学位授与機関:東京工業大学, 報告番号:乙第4105号, 授与年月日:2014年11月30日, 学位の種別:論文博士, 審査員:篠野 志郎,大野 隆造,奥山 信一,那須 聖,村田 涼,坂本一成 (株式会社アトリエ・アンド・アイ)
Citation(English)	Degree:Doctor (Engineering), Conferring organization: Tokyo Institute of Technology, Report number:乙第4105号, Conferred date:2014/11/30, Degree Type:Thesis doctor, Examiner:,,,,,
学位種別(和文)	博士論文
Category(English)	Doctoral Thesis
種別(和文)	論文要旨
Type(English)	Summary

(論文博士)

論文要旨 (和文2000字程度)

(Summary)

報告番号	乙 第	号	氏 名	岡 河 貢
論文タイトル：ル・コルビュジエ全作品集における建築空間の情報伝達手法に関する研究				
(要 旨) ル・コルビュジエは20世紀を代表する傑出した建築家であり、数々の実験的な建築作品を発表すると共に、それらを社会に伝達する活動を行った。したがって、彼の建築作品の社会への伝達手法を検討することにより、今日一般的な表現手法として定着している3次元の建築空間の表象形式に関する、内在化された建築言語のメカニズムの一端を明らかにし得ると考えられる。本論文では、写真、図・スケッチ、キャプション（言語）によって構成される『ル・コルビュジエ全作品集』において、それらの相対的関係を重層的に総合することで、現実には3次元である建築空間が2次元上に転移される情報化の構造的特質とメカニズムを明らかにし、20世紀初期に確立された空間情報の伝達化の意味論的な社会的意義について考察するものである。 第1章「序論」においては、『ル・コルビュジエ全作品集』が、ル・コルビュジエ自身により編集され、経年的に彼の全作品、及び建築的な活動を全て包含するものであることから、彼の建築思想を十全に展開したものであることを述べ、既往の研究において、当該作品集が十分に検討されていない点を指摘し、本論の史料上、及び研究上の妥当性を示すと共に、分析手法について論述した。 2章「建築写真の被写対象による建築空間の情報」では、掲載された写真に写された対象と、写真相互における対象の関係を検討することで、写真の大きさによる階層秩序が成立しており、特に外形、室、テラス・屋上庭園を中心とした建築空間のイメージが優位的に情報化されていること、具体的には、断片的なイメージを多面的に重ね合わせることで外形は表現され、建物の構造体、内外の境界、外部環境が断片化された建物のイメージをつなぎ合わせ、総体としての仮想的空間の表出に寄与し、空間に向かう視線が編成化されている点を、明らかにした。 3章「建築写真の配列の連続による建築空間の情報」では、建築空間を伝達する上で掲載された一連の建築写真の構成を、場面の連続と不連続という視点から検討し、配列の形式に4類型をみいだした上で、それら4類型は、20世紀初期に確立されつつあった映像手法であるモンタージュの理論にある、単一点のモンタージュと水平的モンタージュの静的な写真への援用により、時・空間の再編集が行われている点を明らかにした。 4章「建築写真と図・スケッチによる建築空間の情報」では、見開きページにおける写真と図面・スケッチのコラージュの手法に関する構成を検討することで、「基本コラージュ」として6つの組合せを抽出し、これらの基本コラージュの相補的関連から、「位相間のコラージュ」、「時間的コラージュ」、「相似的・相同的関係のコラージュ」という3類型により見開きページは構成され、異種の伝達媒体を通じて、建築空間が誌面上に再編成されている点を明らかにした。 5章「写真とキャプションによる建築空間の情報」では、写真のキャプションの情報内容について検討し、キャプションを対象の指示および意味付ける役割の情報単位の組合せとして捉え得ることを示し、それらが建築性情報、空間性情報、時間性情報、メッセージ性情報に大別される点を指摘し、そのうち空間性情報と建築性情報は独立して意味を形成すると共に、両者が組み合わせられ使用されることも多いこと、また時間性情報は空間性情報と組み合わせられ、メッセージ性情報は建築性情報と組み合わせられることを、傾向として指摘することで、建築空間を意味論的に再編成する手法を明らかにした。 以上、本論文はル・コルビュジエ自らが編集した『全作品集』における建築作品の情報化が、写真映像の呈示と配列、写真に対する図・スケッチとキャプションによる空間相互のダイアログを通して、ル・コルビュジエの建築に潜在化された建築思想を戦略的に表出させる自律した作品としての展開であったことを明示し、ル・コルビュジエの作品が単に「情報 (information)」として伝達されたのではなく、「情報 (intelligence philosophique)」として現実の建築空間と誌面に転移された建築空間との弁証法的展開を通して、建築空間の情報化に新たな途を切り開くものであったことを明らかにした。				

備考：論文要旨は、和文2000字と英文300語を1部ずつ提出するか、もしくは英文800語を1部提出してください。

Note：Thesis Summary should be submitted in either a copy of 2000 Japanese Characters and 300 Words (English) or 1 copy of 800 Words (English).

注意：論文要旨は、東工大リサーチリポジトリ(T2R2)にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。

Attention: Thesis Summary will be published on Tokyo Tech Research Repository Website (T2R2).

(論文博士)

論 文 要 旨 (英 文)

(300語程度)

報告番号	乙 第	号	氏 名	岡河 貢
Title: Research on Contemplated Mechanism of the Architect Le Corbusier for Conveying the Architectural Idea by the Publications, 『Oeuvre complète en 8 volumes』 (要 旨) Le Corbusier, one of the most representative architects in the 20th century as an <i>avant-garde</i>, is not only well-known by his innovative works in architecture, but also from the achievement that he played an enlightening role in the contemporary society on developing a mechanism of spatial perception through his information media, <i>Le Corbusier Oeuvre complète en 8 volumes</i>, which were published progressively along his activity from 1930 under his editing task. This research aims to clarify how mechanism of information-conveyance from real perception of architectural space into his publication, as a virtual space, expressed in photographs, architectural and freehand drawings, and captions was acquired between the sender, Le Corbusier, and the receiver, the reading public, by means of invoking the <i>semiotic</i> analysis: focusing the configuration in its pages, photographs are displayed in order, depending on its size and camera angle, and discerned as an animation in accord with human movement in applying <i>montage</i> technique; the tendency that architectural and freehand drawings are arranged next to relevant photographs on two-facing pages enlivens the connotation of the concerned photographs in <i>collage</i> technique; the caption for the photograph generally enhances the exact implication toward the spatial perception extending beyond the photo-frame. By way of various techniques on manipulation of architectural information, Le Corbusier explicitly visualizes not only the spatial idea on the two-dimensional publication as an architectural philosophy, but also raises his publication corresponding to the architectural work he designed by himself, as much as one of his representative works.				

備考：論文要旨は、和文2000字と英文300語を1部ずつ提出するか、もしくは英文800語を1部提出してください。

Note : Thesis Summary should be submitted in either a copy of 2000 Japanese Characters and 300 Words (English) or 1copy of 800 Words (English).

注意：論文要旨は、東工大リサーチリポジトリ(T2R2)にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。

Attention: Thesis Summary will be published on Tokyo Tech Research Repository Website (T2R2).